

2020年8月発行

第7号

# 大和川 ジャーナル

寄稿

## 遊水地整備、河道掘削を重点実施

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所

奈良県平成緊急内水対策事業  
～貯留施設を整備中(田原本町)～

奈良県

社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設(田原本町)

# 全国各地で内水被害が発生しています

## 令和元年東日本台風による内水被害

昨年、関東甲信越や東北地方を中心に大きな被害をもたらした令和元年東日本台風では、内水氾濫による浸水被害が15都県144市区町村で発生し、内水被害による浸水戸数は約1万2千戸に及びました。

大和川の流域を中心とした奈良盆地も、平成29年台風21号により広範囲に内水被害が発生しています。決して人ごとではありません。

### ◎主な内水被害団体\*

(被害戸数 1,000戸以上)

都道府県	市	被害状況		
		床上(戸)	床下(戸)	合計
栃木県	佐野市	1,461	1,203	2,664
埼玉県	さいたま市	871	292	1,163
長野県	千曲市	475	1,202	1,677
合計 (144地方公共団体)		5,398	6,361	11,759

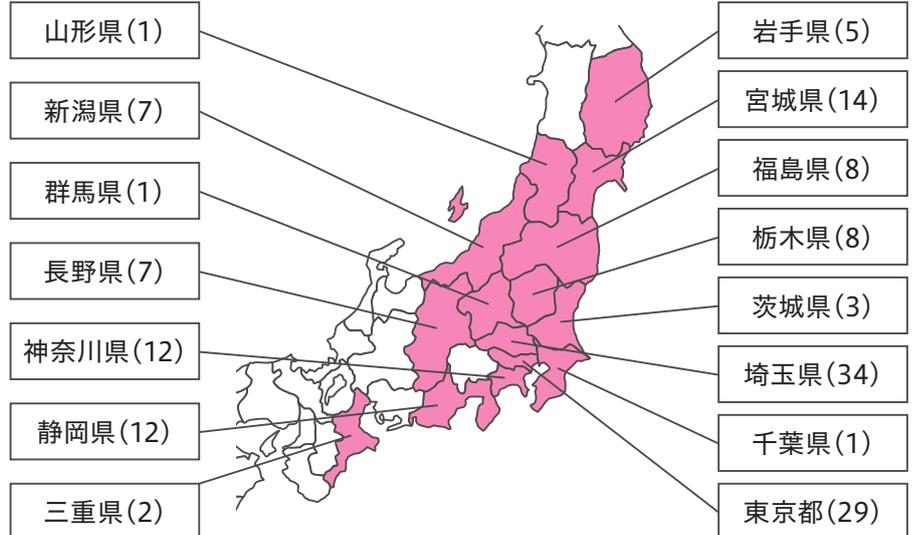


新潟県上越市

河川水位の上昇により内水排除が困難となり浸水被害が発生。

### ◎内水被害発生団体\*

( )内は市区町村数



※被害戸数は地方公共団体からの報告による。

なお、外水被害を含む場合があることから、今後変動することがある。

社会資本整備審議会河川分科会 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会(第1回)資料より再編成。

## 奈良県平成緊急内水対策事業の取り組み

奈良県では平成29年台風21号により、奈良盆地を中心として床上浸水98棟、床下浸水301棟の浸水被害が発生しました。そのため、県では、内水被害の解消へ向け、大和川流域内における内水被害地区で、適地に必要な貯留施設等を整備していく『奈良県平成緊急内水対策事業』を流域市町村と連携して進めています。



ないすいはらん

がiusいはらん

### 『内水氾濫』と『外水氾濫』の違いを知っていますか？

#### 内水氾濫

河川の水位の上昇や流域内の多量の降雨などにより、住宅地などの水路から排水が困難となり水があふれ出ること。

#### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を超えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出ること。



# 奈良県平成緊急内水対策事業 貯留施設を整備中(田原本町)

田原本町阪手地区では平成29年台風21号により浸水被害が発生しました。

田原本町では、内水被害を防止・軽減するため、令和3年春の竣工を目指して、田原本町社会福祉協議会駐車場及び田原本町埋蔵文化財センター駐車場に約5,000㎡の雨水を貯留することのできる貯留施設の整備が進められています。

地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。



田原本町 産業建設部 まちづくり建設課

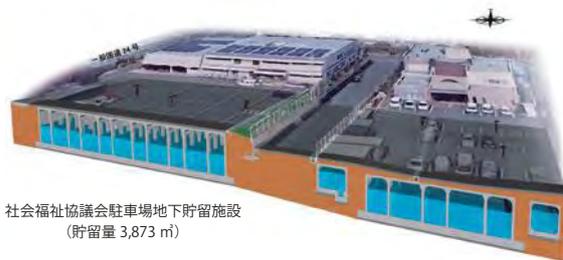
主査 籾内 慎司

近隣の住民の皆様、周辺施設の利用者の皆様には、奈良県平成緊急内水対策事業におきましてご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。令和3年春完成に向けて工事には細心の注意を払い、水害の無い安全安心の環境整備を鋭意推進してまいりますので、引き続きご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。



田原本町阪手

平成29年 台風21号 浸水時



社会福祉協議会駐車場地下貯留施設  
(貯留量 3,873 m<sup>3</sup>)

田原本町埋蔵文化財センター駐車場地下貯留施設  
(貯留量 1,127 m<sup>3</sup>)  
完成予想図

## ～貯留施設の工事が進んでいます!～



令和2年2月

②貯留施設になる部分を掘り下げ



①駐車場の下に貯留施設を設置(工事前)



令和2年6月

⑤貯留施設の設置



令和2年4月

④池底の基礎コンクリートの設置



令和2年3月

③掘り下げが完了し、砕石を設置

# 遊水地整備、河道掘削を重点実施

## ～国土交通省大和川河川事務所の取り組み～

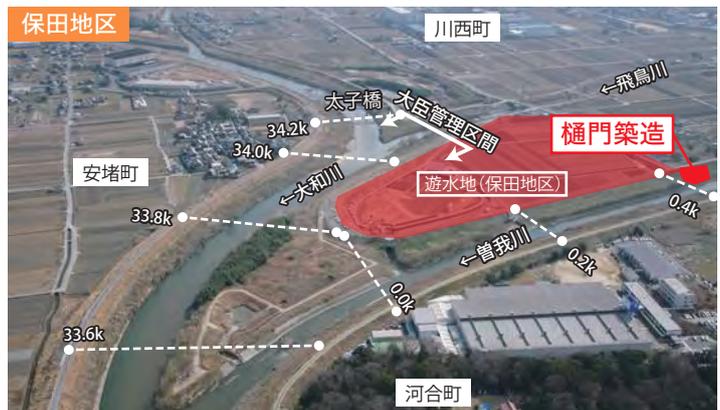
大和川河川事務所では、戦後最大となる昭和57年8月の洪水と同規模の洪水が発生しても、洪水氾濫による浸水被害を防止し、内水による浸水被害を軽減するため、大和川遊水地整備と大和川・佐保川改修を重点的に行う「大和川中流域強靱化事業」を実施しています。



### [ 大和川遊水地 ] 洪水をためて、氾濫を防ぐ

大和川遊水地の整備によって、大規模な洪水による破堤や堤防から水が溢れる可能性が減少します。

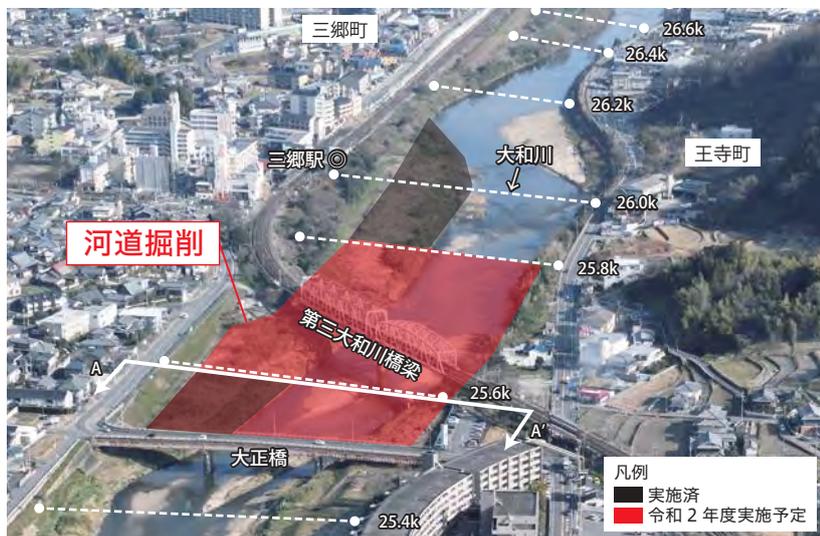
令和2年度、保田地区及び窪田地区においては、樋門の築造を実施する予定です。



## [藤井地区改修] 河道を掘削して、水位の上昇を抑える

藤井地区は、奈良県域の最下流部に位置し、亀の瀬狭窄部の影響で、水位が上昇しやすい地形です。

水位上昇を抑えるため、令和2年度、藤井地区では、河道掘削を実施する予定です。



25.6k付近河道掘削実施中

## [長安寺地区改修] 堰を改築し、水位の上昇を抑える

佐保川には、多数の取水堰があり、川幅も狭く、雨が降ると急激に水位が上昇します。

水位上昇を抑えるため、令和2年度、長安寺地区では、長安寺井堰及び取水施設の改築等に着手する予定です。



取水施設設置箇所の締切完了。現在施工中。  
取水施設設置と井堰撤去を今後実施予定。

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒582-0009 大阪府柏原市大正2丁目10番8号 電話 072-971-1381(代)

ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php>

公式twitter [https://twitter.com/mlit\\_yamato](https://twitter.com/mlit_yamato)



# 減災のための治水対策

## ～水防災意識社会の再構築に向けて～

全国において、大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へ意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目指してきました。

近年では、平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風など、各地で大水害が発生していることから、取り組みをよりいっそう強化していきます。

具体的には、従来からの洪水氾濫を未然に防ぐハード対策に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する危機管理型のハード対策と、水害リスクの高い地域を中心に住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるような住民目線のソフト対策を一体的に取り組んでいます。

今回はソフト対策について、奈良県での取り組みをご紹介します。

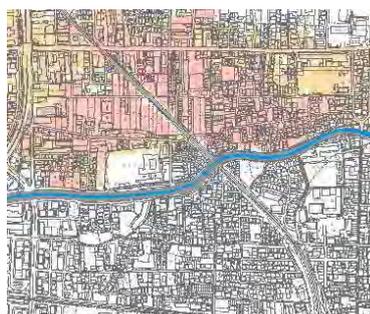


### 取組1

## 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の公表

奈良県は平時より水害リスクを認識しておくため、県内の主要な河川について想定される最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を公表しました。

今後、各市町村により洪水浸水想定区域図(想定最大規模)に対応したハザードマップが順次作成される予定です。



### <大和川流域では…>

#### 平成31年3月に公表済

大和川、曾我川、葛下川、竜田川、富雄川、高田川、葛城川、飛鳥川、寺川、米川、地藏院川、秋篠川、能登川、布留川 14河川

#### 令和2年3月に公表

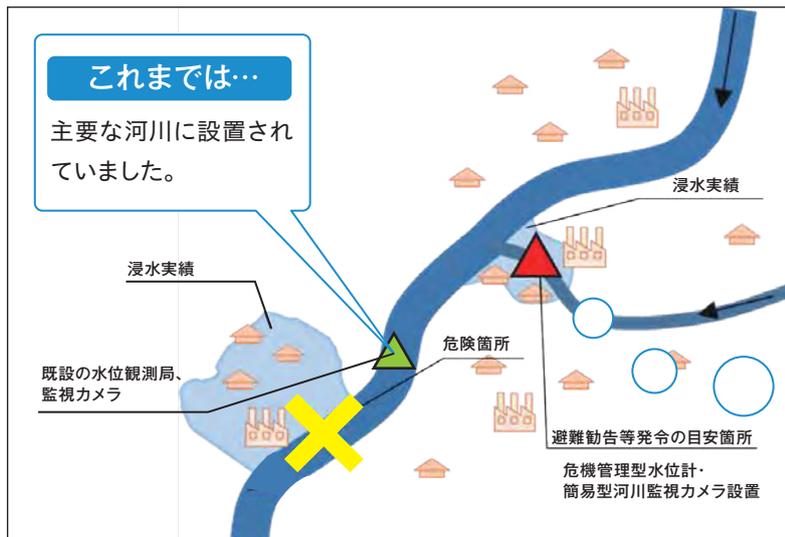
高取川、佐保川、高瀬川、岩井川 4河川

## 取組2

# 危機管理型水位計と 簡易型河川監視カメラの設置

奈良県はより迅速な避難行動を促す河川情報を発信・提供するため、危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラを設置し、近隣住民の方や配慮が必要な方の避難をサポートします。

各市町村等の意見をもとに、人家や重要な施設が浸水する恐れがある的確な避難判断が必要である箇所等を選定し、危機管理型水位計を65箇所、簡易型河川監視カメラを66箇所に順次設置していく予定です。



### 今後は…

新たに危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラを設置することにより、支川や地先レベルでのきめ細やかな河川の状況把握が可能となります！



### 簡易型河川監視カメラ

ズームや首振り機能をなくすことでコストを削減し、電源・通信ケーブルが不要で設置が容易な監視カメラ



### 危機管理型水位計

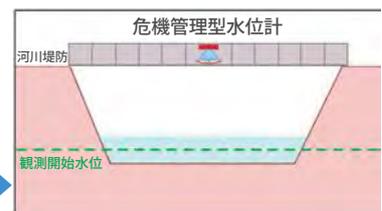
洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計



### 情報提供イメージ



### 情報提供イメージ



- ・河川の水位が観測開始水位を超えてから、5分間隔で水位を観測して表示します。
- ・従来の水位計とは異なり、水位を「堤防の高さまであと〇〇[cm]」と表示します。

新型コロナウイルス感染症が収束しない状況においても、  
災害はいつ発生するかわかりません。

災害発生または発生するおそれがある時は、  
危険な場所から、安全な場所へ  
避難することが原則です。

## 知っていただきたいコロナ禍における避難のポイント

- ご自身の命を守ることが最優先です。自治体等からの情報を参考に、災害の危険が迫ったら、危険な場所から**迷わずに避難**してください。気象情報や避難勧告等の発令状況は、「奈良県防災ポータル」から確認できます。
- 避難とは「難」を「避」けることです。  
避難所に行くことだけが避難ではありません。  
自宅で安全が確保できる場合には、**自宅に留まることも重要**です。  
安全な親戚や知人宅も避難先の選択肢です。事前に確認し、相談しておきましょう。
- マスク・体温計・手指消毒剤・スリッパ・タオル・ゴミ袋など、感染症対策に必要なものはできるだけ各自で用意し、携行してください。
- マスクの着用や手洗い・換気の徹底、隣の人との間隔の確保など、**避難所で行われる感染症対策へのご協力をお願いします。**
- 激しい雨の時には移動すること自体に危険が伴います。「**自らの命は自らが守る**」意識を持って、**普段から準備し、明るいうちの早めの避難行動**を心がけましょう。



詳しくは 奈良県 <http://www.pref.nara.jp/55577.htm>

今のうちに、**自宅が安全かどうか**を確認しましょう！

### 事前にできる災害対策

洪水により大きな被害が予想される県内31市町村では、浸水が想定される区域や避難場所を分かりやすく表示した洪水ハザードマップを作成し、各家庭に配布しています。普段から地域の危険箇所を意識しましょう。



詳しくは各市町村役場窓口へ、または [奈良県洪水ハザードマップ](#) [検索](#)